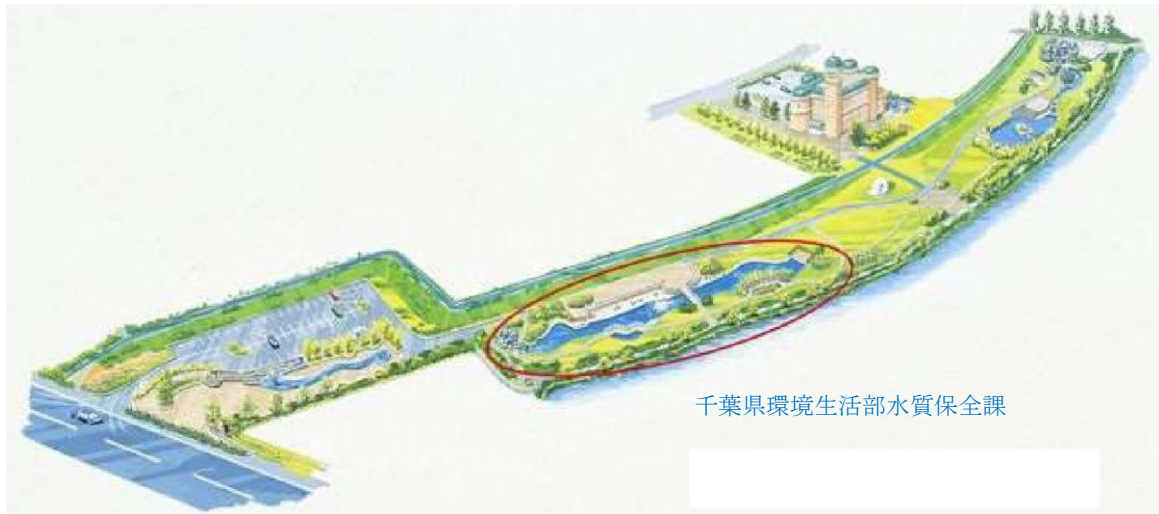


ミニ手賀沼を生き物たちでいっぱい！！

2019.7.20

ミニ手賀沼がどこにあるかご存知ですか。
手賀沼を5千分の一に縮尺した小さな水場で、手賀沼の北側、水の館と駐車場の間にあります。

ここでは毎年夏、市民の参加を得て、「生き物調べと水草植栽」が行われています。
手賀沼水環境保全協議会・水生植物再生活用事業検討委員会の主催です。



参加者は水に入り、網を使ってバケツの中に生き物をつかまえ、この後、水草ガシャモクを植え付けます。その間、テントの下では専門職の方が、生き物を種類別に水槽に分けていきます。



さあ ガシャモクを植えましょう～

どちらが根元かな



珍しいものがありました



ここから広がって手賀沼にも育つ日がきますように

水草を植えるのは、なぜでしょう。

水草は水中の有機物を栄養として成長し、水を浄化する機能があります。以前、手賀沼には水草が、種類も量も豊富に生えていました。特に沼一杯に茂ったガシャモクは畑の肥料となりました。「モク採り」といい、季節の風物詩だったとのこと。しかし急激な水質汚濁により、水草のほとんどは消滅してしまいました。



ガシャモクの苗



2009年 植え込み風景

また北千葉導水事業により、手賀沼の水質は飛躍的に向上しましたが、湖沼の環境基準には達していません。水草の機能を期待しての取り組みであり、あわせて「種の保存・生物多様性の回復」を意図しています。

2007年、水草探検隊により、手賀沼流域内の水生植物を確認して以来の、継続的な行事となりました。アメリカザリガニの食害には捕獲(2010年はバケツ2杯にもなりました)や捕食者としてナマズの放流などを試み、水鳥の荒らし、食害には防鳥ネットを張り巡らした時期もありました。順調とは言えませんが、少しずつ手ごたえを感じています。

メダカを多数確認できた年があったものの、今年はカダヤシしか見当たりませんでした。近年は外来種が増えてきています。

手賀沼、ミニ手賀沼、そして水生植物保存園に対して、関心を持って見守って下さいますよう、お願いいたします。

昭和30年代の手賀沼には、たくさんの種類の水草が繁茂していましたが、浅瀬の消失や水質の悪化などにより、多くの水草が消滅してしまいました。

この水槽では、現在手賀沼で見ることのできない水草(手賀沼の埋土種子から発芽したもの)を集め、育成し、種の保存を行っています。



チーバくん

貴重な水草をみんなで
守っていこう。

柵の中に
入らないでね。



手賀沼水環境保全協議会

事務局：千葉県環境生活部水質保全課

連絡先：043-223-3821

水草保存園標識

水生植物再生活用事業検討委員会：倉田智子